

船舶事故等調査報告書

平成21年1月29日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

| | | |
|--------------|---|---|
| 事故等番号 | 2008広第66号 | |
| 事故等名 | 貨物船ニッシン トレーダー引船福山丸衝突 | |
| 発生年月日時刻 | 平成20年9月21日 10時25分ごろ | |
| 発生場所 | 広島県福山港 | |
| 事故等調査の経過 | 調査の概要:平成20年11月14日 広島・地方事故調査官が海難報告書を精査し, 船舶所有者に損傷状況について電話聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし | |
| 認定した事実 | | |
| 船種・船名・総トン数 | A 貨物船 ニッシン トレーダー(フィリピン船籍) 87, 390トン | |
| 船舶番号 | (9248514) | |
| 船舶所有者等 | ラツ シッピング CO SA | |
| 船種・船名・総トン数 | B 引船 福山丸 214トン | |
| 船舶番号(IMO 番号) | 135271 | |
| 船舶所有者等 | 福山ポートサービス株式会社 | |
| 乗組員等に関する情報 | A B 船長 四級海技士(航海) | |
| 負傷者 | A 負傷者 なし B 負傷者 なし | |
| 損傷 | A なし B 左舷中央部から船尾にかけて3箇所程軽微な凹損 | |
| 事故等の経過 | B船は、広島県福山港でA船の離岸作業支援従事後、平成20年9月21日10時25分ごろ、操船を誤り、B船の左舷中央部とA船の船首部が接触した。A船に損傷はなく、B船は左舷中央部から船尾にかけて凹損があったが浸水、油の流出、負傷者はなかった。 | |
| 事実を認定した理由 | 気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析 | なし あり なし B船が離岸作業支援従事後、離船の際の操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、B船がA船から離船する際の操船を適切に行わなかったため、A船に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。 | |
| その他の事項 | なし | |